

## 10 現行規約の改正について

「現行規約と改正案の比較」により改正内容を中野理事が説明

<質問等>

特になし

— 拍手により承認 —

## 11 その他

\* 高槻市剣道連盟会員の令和4年度の御昇段の報告

\* 令和4年度各剣道教室稽古実績の報告

\* 北摂地区親善剣道大会の選手選考方法について説明

\* 事務連絡

・当連盟主催の講習会に、各道場からより多くの方々が参加していただくよう（特に若手）依頼

・全剣連では「木刀による基本技稽古法」を重視していく方向。修練が必要。

・稽古で双方のマスク着用は、コロナ感染リスクを1/10にするとのこと。参考まで。

## 12 全体質疑

\* 小・中学生剣道教室に防具を装着していないもの（基本組）は参加出来ないのか。  
→ 指導者の人数も限られており、原則、基本組の参加は勧めていない。今後の検討課題としたい。

\* 剣道連盟と中体連との連携はあるのか

→ 活動については、夏季錬成会、昇級審査、大会などに中体連からの参加もある。古谷理事を通じて情報交換もある。

\* 行事予定表の下欄の剣道教室「女性の部」が「第1・2・3木」となっているがそれ以外もあるのでは。

→ 基本開催日を記載しており、詳細は「稽古予定表」を見ていただきたい。

\* 昨年度、コート当番に人手を取られ、一般大会への参加を見送った。人手が足りない場合、応援等は可能か。

→ 状況を言っただけならば、サポートしていただく団体も確保しているので、充分可能である。

\* 文科省が、今後、中学校のクラブ活動を地域の団体に移行していくとの考えを示したとの新聞報道があった。高槻市でも剣道部のない中学校があり、中学生での剣道離れも見受けられる。教育委員会などとも意見交換して、活動場所が制限される中学生を剣道連盟で受け入れるなどの方策がとれないか。

→ 中体連が、全中大会に地域スポーツ団体等の参加を認める特例を打ち出したこともあり、剣道連盟として取り組めるかを検討していきたい。色々の制約も考えられるので、情報収集をしながら、時間をかけて検討していきたい。

## 13 閉会

水久保理事長の閉会挨拶により閉会

— 以上 —